

シンポジウム 2

「消化管疾患における病態解明と治療法開発のトランスレーショナルリサーチ」

司会 鈴木 秀和（東海大学医学部内科学系消化器内科学）

河合 隆（東京医科大学消化器内視鏡学）

消化器癌、消化性潰瘍、炎症性腸疾患などの病態解明と治療法開発は、基礎研究成果を基盤としたトランスレーショナルリサーチがなされたことで、革新的な治療法や薬剤の開発などの画期的臨床応用が実現しました。成果が挙げられてきました。しかし、好酸球性消化管疾患などといった新たな疾患体系や、既知の疾患カテゴリーには入らない未知の炎症、潰瘍、機能障害、あるいは腹痛など多くの消化管疾患が存在しており、そのため治療に難渋するケースも少なくないわけです。このセッションでは消化管疾患の病態解明と治療薬開発のための新たなトランスレーショナル研究をご供覧いただき徹底的に議論していただきたいと思います。